

るくおん通信

発行日： 1992年7月15日

No. 45号

発行者： 盲人情報文化センター録音製作

図・表・写真などの音声訳について〔1〕

図・表・写真など墨字の本の中にある文字以外のものは文字以上に視覚に訴えるものです。今回からシリーズで、図・表・写真などの音声化の問題点を上げて皆さんと一緒に考えて見たいと思います。

ここでは次の項目に分けて話を進めて行きます。

1. 基本的な考え方
2. 図・表・写真などの原本に占める役割
3. 具体的な処理の方法
4. 絵・写真を説明する時
5. 図を説明する時
6. 表を説明する時
7. その他

1. 基本的な考え方

録音図書製作には、まず第一に原本に忠実に、著者の意をそこなく音声化することが要求されます。この観点から云えば、原本の中のすべての図・表・写真などを、説明をきいて再現できるように、本文中に組み込むことが求められます。

しかし、ここで考えてみなければならない問題が二つあります。

- 1) 墨字の本の図・表・写真などは読者が自分の都合のいい時に何回でも見ることができる、時には全く無視して読み進むこともできるのに対して、テープではそれが、不可能ではないにしても大変難しい。

2) 墨字の本の中の図・表・写真などが本文とは際立って異なる存在であるのに対して、テープでは本文と何ら変わらぬ“声”になってしまう。

ということです。

従って音声訳者が本文中に組み込んだ図・表・写真などは、墨字本のそれと同じ役割を果たすことはむずかしいと考えなければなりません。

図・表・写真などのある本を音声訳する時は、以上のことを踏まえて音声訳者の責任で何らかの処理をすることが必要ですが、その場合上に上げた欠点を出来るだけ補うような方法を考えることが大切です。ここで云う処理とは、

- ・ 図・表・写真などを説明するのかしないのか、
- ・ 説明するとすれば本文中のどこですのか、
- ・ どの程度の説明をするのか、
- ・ 説明しない時には、どこでどのように断わるのか

など、図・表・写真などの音声訳に関わるあらゆる問題を含んでいます。

2. 図・表・写真などの原本に占める役割

処理の方法を決めるには、図・表・写真などがその本の中でどういう意味を持っているかを判断しなければなりません。内容について知識を持たない本をやむを得ず音声訳する場合には、これは大変難しい仕事です。担当の職員や場合によっては校正者の意見も参考にして慎重に判断することが大切です。

一般に、本の中で図・表・写真などの占める役割は次のように分類できると思います。

1. 図・表・写真などを主として本が構成されている。
2. 図・表・写真などがなければ本文が理解できない。
3. 図・表・写真などは本文を補強するものである。
4. (さし絵などのように) 本文のイメージを膨らませるもの。
5. (項目の変わり目のイラスト・ページを飾る模様など) 本文の内容と関係のないもの。

本文の中のすべての図・表・写真が上の項目中の一つに当てはまるわけではありません。一つひとつの図・表・写真などの処理を考えると同時に本全体の構成も考えなければなりません。

正誤表から・・・その20

語句	誤読	正しい読み	語句	誤読	正しい読み
薬効	ヤクコウ	ヤッコウ	役務	ヤクム	エキム
大著	ダイチョ	タイチョ	紙幅	カミハバ	シフク
佳句	ケイク	カク	大兵	オオビョウ	ダ ^レ 化 ^ヨ ・タ ^レ 化 ^ヨ
軽蔑	ケイブ	ケイベツ	侮蔑	ブジョク	ブベツ

二通りの読み方があるって各々意味が異なるもの・・・その7

上物	ジヨウモノ ウモノ	上等な品物 土地の上にある建物など	大切	タイセツ オオギリ	大事なこと、尊敬すること 大物切 ^レ 分 ^ル 事 ^ニ 切 ^ル 狂言、
老子	ロウシ オイゴ	中国の哲学者 年をと ^ッ か ^ガ 生 ^ン だ ^子	大名	ダイメイ オオナ	領主 村々町々大分 ^ノ 区域 ^ノ 名
御上	オカミ オエ	天皇 政府 民家 ^ノ ガ ^リ 口 ^ノ 間、台所 ^ト	大成	タイセイ オオナリ	完全に成 ^シ 遂 ^ゲ ること 果実 ^ノ が ^リ 沢 ^山 なること

— Q & A —

Q: アクセント辞典に載っていない言葉のアクセントを調べる方法はありませんか。

A: あります。アクセント辞典に載っていない言葉を調べるには、小学館の『日本国語大辞典』や、三省堂の『大辞林』、角川の『国語中辞典』などで分かります。『日本国語大辞典』は大部ですので個人で用意するのは無理でしょうが、『大辞林』『国語中辞典』などを利用すると便利でしょう。ちなみに、アクセント辞典に載っていない「シーラカンス」や「針千本」などを調べると、シーラカンスは「カ」で、針千本は「セ」で変化することが分かります。

◇◇ このコーナーでは質問にお答えします。どんな事でも結構ですのでご質問があれば、お寄せください。(清水)

音訳研修の会のご案内

日時 1992年7月29日 (水)
13:30～15:30

場所 盲人情報文化センター9階ホール
講師 新井洋子氏

内容 1. 誰か袖
2. 移り変わり
3. 埋もれ木

*グループには、参考までに一部だけ同封してあります。

グループ連絡会のご案内

日時： 1992年7月31日 (金)
13:30～15:30

場所： 盲人情報文化センター9階ホール
内容： リクエスト製作を中心に家庭録音の問題や日頃のグループ運営などについて交流をおこなう。

*今回は、リクエスト図書一覧は省略しました。